

# Hello! Baby-kids

## 12月生まれ

### 2月生まれの子どもを募集中

- 対象 町内に住み、2月で1歳～3歳になる子ども
- 申し込み 12月15日(木)までに投稿する写真・住所・親子の氏名(ふりがな)・子の生年月日・電話番号・子どもへのコメント(22文字以内)・広報おかがきへの意見をおかがきPR課に窓口、郵送またはメール(koho2@town.okagaki.lg.jp)で提出

野田結愛ちゃん(2歳)  
令和2年12月22日生まれ(東高陽)  
2歳のお誕生日おめでとう!!  
大きくなったね♡



箕添耀ちゃん(2歳)  
令和2年12月18日生まれ(吉永)  
無邪気でヤンチャなあつきー  
笑顔一杯大きくなあれ♡



熊谷柁花ちゃん(3歳)  
令和元年12月7日生まれ(吉永)  
癒しの柁花♡産まれて  
きてくれてありがとう♡



光吉唯乃ちゃん(2歳)  
令和2年12月19日生まれ(公園通り西)  
いつも元気な唯ちゃん  
これからもよろしくね♡



浦田眞碧ちゃん(3歳)  
令和元年12月10日生まれ(山田ヒルズ)  
3歳おめでとう♡  
元気100倍!大きくなあれ♡



## 岡垣チャリティーイベント2023 に出店しませんか

地域と人をつなぎ、まちを盛り上げるためのチャリティーイベントを催します。現在、出店者を大募集中。一緒にイベントを盛り上げませんか。

とき 令和5年4月15日(土)・16日(日)午前10時～午後5時※雨天決行

ところ 岡垣サンリーアイ  
部門・出店料(1ブースあたり)

●マルシェ(ハンドメイド・ワークショップなど)＝1日4千円、2日7千円※2店舗で1つのブースをシェアできます。

●飲食・ケータリングカー＝1日5千円、2日9千円

申し込み 12月28日(木)までに右の2次元コードからLINEで「友だち登録」

問い合わせ 小池 ☎080-1706-8200



### 短歌・俳句・川柳

#### 一般の作品

送迎のデザイナービス車秋の風

井上アヤノ

コスモスの庭通りぬけ回覧板

馬場とき子

麦茶から番茶わが家に冬が来る

恵家健生

総仕上げ懐寒く買い控え

山村英之

誘う風なけれど枯葉地へ還る

篠生照未

「マリンあしや」三階の大広間

越えし七坂夢のようなり

早川京子

嫁ぎ来て六十年が過ぎ去りぬ

新川正恵

神宿る山毛櫨の翁の和賀山へ

石松清美

道なき道行く案内乞いて

めぐりて作る事もなし今は

御領園久美子

敬老会有りや無しやとごわめきぬ

石田真知子

弁当がよいか金券も可かと

黒瀬里美

玄関先より銀木犀の香りきて

ネットで購入して買ったラベンダー

ああ無情この地に住んで三十年

母とも慕う人の計を聞く

神屋真弓

訪問販売で買ったラベンダー

ああ無情この地に住んで三十年

母とも慕う人の計を聞く

神屋真弓





おがた かずこ  
緒方 和子さん

野間四区在住。自身の体験や考え、思いをまとめた「エッセイ」を執筆している。今年5月に執筆した「お日様のにおい」が、株式会社文芸社が主催する文章コンクール「第5回人生十人十色大賞」の長編部門で、毎日新聞特別賞に輝いた。

また、第1回のコンクールでは短編エッセイ「真夜中の台所」で短編部門の入賞を果たし、同作品が合同作品集に掲載された。

## 募集

町民ふれあい広場では、お知らせ、サークルなどの紹介、イラスト・写真、俳句・短歌・川柳などを募集します。※営利・政治・宗教に関するものなど、掲載できないものもあります。

**申し込み** 掲載号の前々月15日(2月号は12月15日)までに住所・氏名・電話番号・原稿などをおかがきPR課に窓口、郵送またはメール(koho2@town.okagaki.lg.jp)で提出  
※応募多数のときは抽選

町の輝いている人や元気な人を紹介します

# 住人十色

第82回

## 日本語の繊細さと美しさ

Q 執筆活動を始めたきっかけは？

A 趣味の範囲ではありますが、執筆活動を始めたのは仕事を退職してからで、今年で約25年になります。幼いころから本を読むことが大好きで、懸命に貯めたお小遣いの多くを、書籍の購入に充てていたことを思い出します。

仕事に就いていた頃はあまり時間が取れませんでした。今は文章を書くことに没頭できて満足しています。

Q どんな作品を執筆していますか？

A 私自身が今まで生きてきて感じたことを「半生記」のように書き記すことが多いですね。

私の作品には、特に「仕事」が多く登場します。現役時代に「つらい」と感じるが多かったのですが、家族の温かい支えのおかげで乗り越えられたこともたくさんあり、「家族」というキーワードもよく使っています。

なお、5月に執筆した作品のタイトル「お日様のにおい」。娘が幼いころに「お母さん、干した布団、お日様のにおいがするね」と喜んだことが由来になっているなど、作品を書く上で家族の存在は私にとって欠かせないものだと思います。

Q 執筆活動の楽しさや魅力は？

文章を書くことの楽しさ——時折、私は「苦しさ」を感じることもあります。なぜなら、活字で自分の思いを普遍的に伝えることは、とても難しいからです。

目の前の相手に気持ちを伝えるときは、声色や表情などの手段を使えます。しかし、活字となるとそうはいかず、すべての情景や思いを文章で表現する必要があります。それが「書く」ことの楽しさ・苦しさであり、うまく書き表せたときは何にも代えがたい喜びを感じます。

Q 今後の目標は？

A これからも、大切な趣味である執筆活動を楽しく続けていきたいです。また、いずれは文学館などが主催するさまざまな文学賞に応募し、できる限り多くの作品を世に広められればと思っています。

### 青嶺岡垣俳句会

盲ひたる任職遷化白芙蓉

平村久恵

栗飯を炊いて子を待つ余生かな

岩崎要子

一房の葡萄の重き乳垂川

天本睦子

草の露天寿といはれ母逝きし

岸原邦代

### 岡垣川柳会

バイキングあれこれ迷う歳になり

山田眞理子

思い出が更地になって道迷う

廣渡憲峰

迷うとはこうゆう事か後戻り

藤原かず子

老体を見せる献体迷わせる

坂本堂

### サンリーアイ俳句会

すがれ虫鳴くや唐戸の競のあと

沼田捷子

爆心地訪ふ三世代の秋思

赤田由美子

秋天や極限までクレイン延ぶ

深田英子

故郷へ母と歩きし花野径

カ丸ツヤ子